

愛知の土地改良

第187号

平成28年9月1日



田んぼアート
北名古屋

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 第1回支会長会議開催 | 2 |
| <input type="checkbox"/> 第1回参与会開催 | 2 |
| <input type="checkbox"/> 叙勲 | 2 |
| <input type="checkbox"/> 農業農村整備の集い | 3 |
| <input type="checkbox"/> 平成29年度農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施 | 3 |
| <input type="checkbox"/> 平成29年度農業農村整備事業の取組、 地域別重点要望項目についての要請活動を実施 | 5 |
| <input type="checkbox"/> 平成28年度第1回農業用排水機県営移管期成同盟会役員会開催 | 5 |
| <input type="checkbox"/> 平成28年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (36期生～40期生)打合せ会議開催 | 6 |
| <input type="checkbox"/> 水土里情報システム操作研修会の開催 | 6 |
| <input type="checkbox"/> 土地改良区体制強化事業情報 | 6 |
| <input type="checkbox"/> あいちの農業用水展開催 | 7 |
| <input type="checkbox"/> 愛西市鶴戸川釣り大会開催 | 8 |
| <input type="checkbox"/> 平成28年度水土里レポーター | 9 |
| <input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランス行動計画 | 9 |

第1回支会長会議開催

8月10日、第1回の支会長会議を、愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。会議には中野治美会長(海部支会長)、小久保三夫副会長(豊橋支会長)、佐藤幸男名古屋副支会長、恒川宣彦一宮副支会長、片岡勝城半田支会長、神谷金衛岡崎支会長、川上万一郎幡豆支会長、三浦孝司

豊田支会長が出席された。会議は初め中野会長より挨拶がなされ、続いて、中野会長を座長に選任し、提出した下記議案については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

提出議案

(1)理事会提出議案について
その他

第1回参与会開催

参与会は定款第31条「この会の業務を適切に行うため必要があるときは、参与若干人を置くことができる。」に基づき年数回開催し、諮問に応じていただいているもので、今年度、第1回目の参与会を、7月26日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

参与会は青木章雄専務理事の挨拶の後、参与を

代表し、山本信介愛知県農林基盤局長より挨拶をいただき、議事に入った。提出した議案は8月29日開催の理事会に提出する平成27年度事業報告並びに一般会計収支決算等、それに関連した本会の短期事業計画も併せて協議された。また、農業農村整備の集いおよび要請活動について報告をした。

叙 勲

政府は平成28年4月29日付で平成28年春の叙勲の受章者を発表した。

本会会員からは2名の方々が受章の栄に浴されました。

このたびの栄えある受章を心からお慶び申し上げます。益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章



茶納 邦夫 氏

十五ヶ用水
土地改良区理事長

旭日双光章



林 立規 氏

宝南悪水
土地改良区理事長

農業農村整備の集い

— 農を守り、地方を創る予算の確保に向けて —

5月30日、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボアで、全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催された。

この集いは、全国の土地改良関係者約700名が一同に会し、現下の情勢を共有した上で、農業農村整備の一層の推進を図っていくことを目的に開催されたもので、本県からは、中野治美会長をはじめ、本会会員、愛知県より29名が参加した。

冒頭、二階俊博全国水土里ネット会長が、「昨年は、財政状況が厳しい中、平成28年度予算の増額要求に向けて努力した。全国の関係者の協力のお陰で、平成27年度補正予算と合わせて1,222億円を確保することが出来た。」と挨拶された。

また、今般発生した平成28年熊本地震について、「現在、熊本と大分の既存施設の被害状況の把握に取り組んでおり、今後、全国的な支援体制を確立していくとともに、被災状況の全体像が判明してからの具体的な取り組みについて、全国の関係者の役割分担を検討していくこととなる。全土連では、東日本大震災の時の経験を踏まえ、被災県にとって最も効率的な対応を展開していく。」との考えを明らかにし、今後の予算要求については、「財政事情が一段と厳しくなる中で、予算増額要求の実現が厳しい状況となっている。しかし、農業農村の実情を見ると、未だ十分な状況とは言えない。今年も関係者と協力しながら、財政当局への要請活動を積極的に行っていきたい。」との強い気持ちを示された。



二階会長挨拶

その後、事例発表では、島根県の水土里ネット安来市と、山梨県の水土里ネット笛吹川の取り組みが紹介され、熊本地震の被災状況等報告として、水土里ネット熊本の荒木泰臣会長と米村啓司事務局長より、被害状況や関係機関への要請活動状況の報告があった。

また、国に対して安定的・計画的な農業農村整備事業の実施に十分な予算措置を講ずるよう求める要請事項が示され、全国の水土里ネットがこれまで培ってきた経験と技術を活用し、『戦う土地改良』のスローガンの下、平成29年度当初予算で地域の要望に十分応えられる規模を確保し、28年度予算においても、現場のニーズに十分対応出来るよう、速やかに追加的な予算措置を講ずることを強く求めた。

集い終了後、採択された要請書により、全国水土里ネットは農林水産省始め関係省庁に要請活動を実施した。

平成29年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

5月27日に、東海農政局において、中野治美会長、青木章雄専務理事により平成29年度農業農村整備事業に関する19項目の重点要請について、丹羽啓文農村振興部長を始め局幹部職員への

要請活動を実施した。その後、東海農政局長室において、中野会長から田辺義貴東海農政局長に要請書を手交した。

また、5月30日に、農林水産省農村振興局において、中野会長、青木専務理事により同内容の要請について、佐藤速水農林水産省大臣官房総括審議官を始め農村振興局幹部職員への要請活動を実施した。さらに、当日開催された「農業農村整備

事業の集い」終了後においても、本県選出の衆参国議員それぞれに要請活動を行った。

要請書並びに重点要請項目の内容は次のとおりです。



東海農政局幹部への要請



田辺東海農政局長に要請書を手交

要 請 書

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。また、農業農村整備事業関係予算について、**27年度補正を含めた28年度予算として、概算要求を上回る額の確保**していただきましたことに、重ねてお礼を申し上げます。

本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、**農業産出額で全国3番手グループ、全国でも有数の農業県**となっております。

一方で、**我が国最大規模のゼロメートル地帯**を有する特殊な事情を抱えております。南海トラフで発生する大規模地震による海岸堤防の沈下・崩壊や津波到達前の浸水、津波による堤防流出による甚大な被害と近年のゲリラ豪雨等の多発による洪水被害を懸念しております。そのため、**防災・減災に資する農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題**であり、それらの事業を実施するためには、補助制度の拡充並びに創設が必要であります。

また、**農業の競争力を強化**するためには、農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設等の基盤整備事業を契機として、担い手への農地集積・集約化および高収益作物への営農転換を推進していく**農業生産基盤の整備**が必要であります。

さらに、農村における**多面的機能の維持**や、農業用水を利用した**小水力発電等の再生可能エネルギーの導入**など、農村資源の保全とその恵みを活用していく必要もあります。

これまで先人達が築き守ってこられた施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくことが私たちの責務でもありますので、**国営事業を着実に推進**していただくと共に、これまで補完的な改築に留まってきた大規模水利施設や水資源開発施設等につきましても、**適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施**していく必要があります。

そのため、**平成29年度当初予算においては、これらの地域のニーズ並びに課題を十分に満たす規模の予算の確保が必要**であります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、**3つのテーマで合わせて19項目の重点要請**を行いたいと思います。愛知県土地改良区事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。

重点要請19項目

I 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の計画的な実施について
- 2 農村地域防災減災事業の国庫補助率の嵩上げについて
- 3 農地防災事業に係る土地改良法手続きの簡素化について
- 4 海岸堤防の耐震対策を迅速に行う補助制度の拡充・創設について
- 5 県営耐震対策一体型かんがい排水事業の創設について

Ⅱ 国土強靱化に資する農業農村防災対策と力強い農業を支える農業生産基盤の整備について

- 1 農村地域防災減災事業の促進について
- 2 農村地域防災減災事業等による耐震対策の促進について
- 3 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 4 農業の競争力強化に向けた農業基盤整備事業の促進について
- 5 農山漁村地域整備交付金の促進について
- 6 多面的機能支払交付金による地域の協働活動の着実な促進について
- 7 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について

Ⅲ 暮らしを支える大規模水利施設の耐震化及び更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 2 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の推進について
- 4 地域整備方向検討調査 矢作川沿岸地域の推進について
- 5 水資源機構施設における耐震診断・耐震対策の推進について
- 6 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 7 木曾川用水施設における老朽化対策の推進について

平成29年度 農業農村整備事業の取組、地域別重点要望項目 についての要請活動を実施

6月3日に、長坂紀事務局長により、平成29年度農業農村整備事業の取組、地域別重点要望事項について、小林功自由民主党愛知県議員団土地改

良議員連盟副会長を始め各議員に地域別要望活動を実施した。

平成28年度 第1回 農業用排水機県営移管期成同盟会役員会

5月10日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、農業用排水機県営移管期成同盟会第1回役員会が、来賓に平野隆久愛知県農林基盤局農地整備課長を迎え開催された。

第1回役員会では、平成28年2月25日に一般財団法人中部電気保安協会に対し行った、農事用排水機場の保安管理業務手数料の現状維持を求めた要望活動に対する、同年3月3日付で提出された回答書内容について協議が行われた。

一般財団法人中部電気保安協会が保安管理業務手数料の改定に至る経緯等を考慮した上で、様々な意見が交わされる中、「農事用のメリットに対する割引」「段階的な値上げ」の確約を盛り込んだ回答書内容に、保安管理業務手数料の改定見直しを承認せざるを得ないとし、回答書内容の覚

書締結議案が可決承認された。

議事終了後、浜田一徳会長から「排水機維持管理事業補助金の予算確保に向けて、本来必要とされるべき補助額を得るために、より一層尽力していきたい」と挨拶され役員会を終了した。



役員会

平成28年度 土地改良施設維持管理適正化事業加入団体 (36期生～40期生) 打合せ会議 開催

5月12日、愛知県土地改良会館7階大会議室において平成28年度土地改良施設維持管理適正化事業加入団体打合せ会議を開催し、加入団体58団体75名の出席のもと次の事項の打合せを実施した。

1 適正化事業実施計画について

- (1) 適正化事業実施要領等の一部改正について
- (2) 平成28年度加入適正化事業(40期生)の年度別実施状況調書
- (3) 平成28年度適正化事業実施計画調書

2 適正化事業事務手続きについて

また、打合せ会議終了後、希望加入団体の個別案件の打合せを実施した。



適正化事業加入団体打合せ

水土里情報システム操作研修会の開催について

《システム研修》

水土里情報システムの運営については5年目を迎え、昨年5月より新たなシステムの稼働を開始しており、本年度は平成28年5月9日～13日にシステムの基本機能の操作を対象とする「水土里情報システム操作研修会」を開催した。

主な研修内容

◎システムの基本的な操作研修

主な研修項目は、認証、画面構成、表示パターン管理、計測、属性表示、塗り分け、ラベル表示、検索、メモの作成、印刷等。

(参加団体:40団体 参加者:91名)

また、使い勝手の良いシステムへの改良を2月、6月、10月に分けて行い、今後も、本システムを使って皆様の業務の効率化が図れるような内容の実務的な研修会を進めてまいります。

《愛知県職員システム研修》

次に、平成28年5月16日、17日、23日～25日に、左記のシステムの基本操作説明に加えて、県事業情報の運用を行うための操作について愛知県職員を対象に研修会を開催した。

主な研修内容

- ◎システムの基本的な操作研修
- ◎県事業情報の運用を行う操作
新規地区作成及び継続地区更新作業における操作
(参加者:29名)



水土里情報システムの説明

土地改良区体制強化事業 情報

Ⅱ 平成28年度愛知県受益農地管理強化委員会 Ⅱ

6月1日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において愛知県受益農地管理強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成27年度水土総合強化推進事業実績報告並びに収支決算について(土地改良換地等強化事業)

- 2 平成28年度土地改良区体制強化事業実施計画並びに収支予算について(受益農地管理強化対策関係)
- 3 遅延地区について

7ページへ続く

Ⅱ 平成28年度愛知県管理運営体制強化委員会 Ⅱ

6月1日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において愛知県管理運営体制強化委員会を開催し、次の議案について協議し、承認された。

- 1 平成27年度土地改良施設管理円滑化事業実績報告並びに収支決算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する

苦情・紛争等の対策)

- 2 平成28年度施設・財務管理強化対策実施計画並びに収支予算について(土地改良施設の診断・管理指導及び土地改良施設の管理等に関する苦情・紛争等の対策)

Ⅱ 平成28年度連絡調整会議 Ⅱ

6月14日、愛知県土地改良会館6階第1研修室において連絡調整会議を開催した。愛知県農地計画課、農地整備課及び各農林水産事務所建設課のアドバイザーに出席いただき、平成28年度愛知県管理運営体制強化委員会について報告し、土地改良施設維持管

理適正化事業(36～40期生)の年度別実施状況・実施計画、平成28年度適正化事業実施計画及び平成29年度新規(41期生)事業実施要望等について協議し、土地改良施設の維持管理、事業の拡充強化について意見が交換された。

平成28年度 あいちの農業用水展 ～水が育てる愛と知の風土～

博物館明治村で開催！

「水の週間」に因んで、8月6日に愛知県、水土里ネット愛知、(公財)愛知・豊川用水振興協会主催(水土里ネット入鹿用水共催)による「あいちの農業用水展」が、「水が育てる愛と知の風土」をテーマとして、博物館明治村において開催された。

この「あいちの農業用水展」は、県内の農業用水の歴史と変遷等をパネルにより時代を追って紹介することにより、先人の努力の積み重ねにより育まれてきた「水」の重要性について広く一般に周知し、関心を高めてもらうことを目的として毎年開催している。

開催26回目となる今年度は、農業用ため池として全国最大級の貯水量を誇る入鹿池(犬山市)が昨年10月に県内初となる「世界かんがい施設遺産」に登録されたことから、入鹿池に関する内容を含めて催された。メイン会場となった「三重



テープカット

県庁舎」では、本会の併催行事である第18回広報キャンペーン「あいちの農業・農村パネル展」を開催し、パネルに関するクイズ・スタンプラリー、小水力発電の模型展示、燃料電池車MIRAIの展示を行った。併せて、「竹水鉄砲合戦実行委員会」の浅見委員のご協力により、竹水鉄砲の手作り体験や試し打ちも実施した。



パネル展



竹水鉄砲体験

8ページへ続く

サブ会場となった「芝生広場」では、農業農村整備に関連したカルタ大会や田んぼの生き物展示（約30種類の魚や水生昆虫などを展示）、生き物展示と関連性を持たせた魚つりクイズ、測量体験などを行った。

会場では、朝から猛暑となったにもかかわらず、明治村の「宵の明治村」イベントも重なって、浴衣姿の来場者も訪れるなど、終日300名あまりの参加者でにぎわった。

愛西市鵜戸川釣り大会開催

7月31日、愛西市西部に位置する鵜戸川において「愛西市鵜戸川釣り大会」が開催された。この大会は、愛知県と水土里ネット愛知で共催し、協賛団体として、愛西市、水土里ネット立田輪中悪水、水土里ネット立田村、立田漁業協同組合、愛西市観光協会、愛知県農地水多面的機能推進協議会で執り行われた。

開催場所は、愛西市立田支所の東側に隣接する鵜戸川の左岸350mで行われ、愛西市民を中心に140名（一般50名、小学生90名）ほどが参加し盛大に開催された。

開会式では、愛西市立田体育館前の駐車場で大村秀章愛知県知事、中野治美会長が挨拶され、その後、参加者は競技会場の鵜戸川へと移動し、9時20分には魚釣り競技が始まった。10時30分頃に競技を終了し、立田漁業協同組合による「投網」の実演を見学した後、体育館視聴覚室において、



大村知事挨拶

愛知学泉大学矢部隆教授から「外来生物について考えよう」という講和をいただいた。

また、一般の部、小学生の部ごとに大物賞（魚のみ）大漁賞（魚と亀の数）が表彰された。大物賞の優勝は一般の部38.5cm（ニゴイ）、小学生の部23.0cm（ブラックバス、ニゴイ）、大漁賞は一般の部13匹と小学生の部11匹であった。



中野会長挨拶



釣り大会会場

訃報

本会代表監事・鍋田土地改良区理事長 白木実夫氏が、平成28年5月25日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

なお、5月27日監事による互選会を行い、代表監事に油ヶ渚悪水土地改良区理事長 早川健三氏が選任されました。

平成28年度

みどり 水土里レポーター

21世紀土地改良区創造運動の更なる浸透を図るため、地域の情報を発信していただく水土里レポーターが全国で活躍しています。平成28年度の本県のレポーターは、下記の水土里ネット職員

の方にそれぞれ委嘱しご協力いただいております。今後の地域からの情報発信についてよろしくお願いいたします。



| | | |
|------------|-------|-------------|
| 水土里ネット南陽 | 事務吏員 | 安達 直子 |
| 水土里ネット愛知用水 | 総務課長 | 前田 和弘 |
| 水土里ネット豊田 | 総務課技師 | 加藤 利明 (敬称略) |



なお、全国から投稿された発信情報は、新・田舎人フォーラム(全国水土里ネットホームページ <http://www.inakajin.or.jp/jigyou/tabid/106/Default.aspx>)または農業農村整備情報総合センターのホームページ「NNニュース(http://www.aric.or.jp/03_book/nnnews/nnnews.htm)」に掲載されております。本県レポーターの発信情報も掲載されていますので是非ご覧ください。

水土里ネット愛知は、次世代育成支援対策推進法の規定に基づき、次のような行動計画を策定しました。

○次世代育成支援対策推進法とは・・・

次代の社会を担う子供の育成、育成している家庭の支援のため、国・地方公共団体・事業主がその雇用環境の整備等の取り組みをしていく法律である。

ワーク・ライフ・バランス 行動計画

全ての職員がその能力を十分に発揮でき、健康で豊かな生活を送れるような雇用環境の整備を行うとともに、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のある連合会となるため、行動計画(平成33年3月31日まで)を策定する。

目標1

所定外労働時間の削減

- (1)定例課長・事務長会議で周知徹底する。
- (2)毎週水曜日は、ノー残業デーとする。
(出張等やむをえない場合は同一週に振り替える。)
- (3)管理職は、職員へ帰宅を促す。
- (4)水曜日の終業時刻に館内放送して帰宅を促す。
- (5)管理職は見回りをして帰宅を促す。

目標2

年次有給休暇取得の促進

- (1)夏季休暇6日の完全取得を目指す。
取得していない職員は、年末までに完全取得させるよう時季指定する。
- (2)年次有給休暇10日の取得を目指す。
 - ①5月の連休中に年次有給休暇を取得できるよう調整する。
 - ②毎月課員の休暇取得を把握し、年次有給休暇を取得させるよう調整する。
 - ③休暇を取得していない職員については同職員と調整しながら、年度末までに最低5日取得させるよう時季指定する。

平成28年4月1日 水土里ネット愛知

平成28年8月19日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。
金利は金融情勢により変動します。
最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

| 区 分 | 利率一覧(平成28年8月19日現在) | | | | |
|--------|--------------------|-----------|-------|-------|-------|
| | 借入期間にかかわらず | 融資期間別(一例) | | | |
| | | 5年 | 10年 | 15年 | 20年 |
| 県営補助残 | 0.25% | — | — | — | — |
| 団体営補助残 | 0.10% | — | — | — | — |
| 非補助 | 0.10% | — | — | — | — |
| 災害復旧 | — | 0.10% | 0.10% | 0.10% | 0.10% |

| 研修会名 | 開催日 | 対象者 |
|-----------------------------|---------------|------------------------------|
| 農業用排水機県営移管期成同盟会事業視察研修会 | 9月20～21日 | 同盟会会員役職員 |
| 水土里ネット事業視察研修会 | 9月29～30日 | 事業実施会員役職員 |
| 平成28年度複式簿記促進研修会 | 10月4日 | 水土里ネット職員 |
| 水土里情報システム応用操作研修会 | 11月予定 | 水土里情報加入団体職員 |
| 技術力向上事業研修会 | 12月予定 | 市町村、水土里ネット職員 |
| 小水力発電導入技術力向上地方研修 | 12月予定 | 協議会構成員の土地改良区、県、市町村の職員 |
| 小水力発電導入技術力向上中央研修(専門技術者育成研修) | 12月、2月(各6日程度) | 土地改良区等の職員(発電施設の維持管理、運営実務担当者) |
| 水土里ネット役職員研修 | 1月中旬 | 水土里ネット役職員 |

第15回 あいちの農業・農村フォトコンテスト 募集

愛知県の活力ある美しいむらづくりのための農業農村整備を推進し、すばらしき、あいちの農業・農村を広く一般に紹介するため、広報キャンペーンの一環として作品を募集します。

テーマ 「土地改良施設と歩む農業・農村」

- | | | |
|---|--------------|----------------|
| 賞 | 水土里のフォト大賞 | 1点(賞状、副賞3万円) |
| | 水土里のフォト優秀賞 | 2点(賞状、副賞1万5千円) |
| | 水土里のフォト入選 | 10点(賞状、副賞5千円) |
| | 多面的機能共同活動特別賞 | 3点以内(賞状、副賞1万円) |
| | 水土里のフォト参加賞 | 参加者全員(記念品) |



※詳細は、水土里ネット愛知ホームページ(<http://www.aichi-doren.or.jp/>)をご覧ください。

残暑お見舞申し上げます。

 水土里ネット愛知 会長 中野 治 美
外役職員一同